

■蘇我蝦夷 豪族，大臣。馬子の子。父の死去後，叔父を殺して欽明天皇擁立，子入鹿と権勢を振るい，誅せられた。

そがのえみし

586＝ この頃，蘇我馬子の子に生まれる。入鹿の父。名は毛人にも作り，豊浦大臣ともいう。

丁未の変・・・ 587＝ 1歳：

推古天皇・・・ 592＝ 6歳：

・・・・・・・ 595＝ 9歳：

十七条憲法・・・ 604＝18歳：

遣隋使4・・・ 610＝24歳：新羅・任那の使人を朝廷に迎えた時，大伴咋連らとともに座を立ち進み出て庭に伏した。

・・・・・・・ 613＝27歳：

聖徳太子没・・・ 622＝36歳：

蘇我馬子没・・・ 626＝40歳：_馬子が死去して，大臣に任ぜられたらしい。

推古天皇没・・・ 628＝42歳：_推古天皇は蘇我氏の系譜に結びつかない田村皇子と聖徳太子の長子山背大兄王に遺詔して崩じた。蝦夷はその嗣位の決定を迫られ，群臣の合議によって自分の推す田村皇子を皇位継承者と目論むも，一致をみず，叔父の境部摩理勢は山背大兄王を推し，対立した。この時，馬子の造墓に蘇我一族が動員されたが，墓所の盧を摩理勢が壊し，退去して蝦夷に反抗したので，蝦夷は怒ってその逆心を責めた。摩理勢は斑鳩の山背大兄王に保護を求め，その異母弟の泊瀬王の宮にかくれると，蝦夷は山背大兄王に摩理勢の引き渡しを要求した。大兄王は摩理勢に蝦夷に背くことを戒め，泊瀬王も病死したので摩理勢は蝦夷の軍に殺された。

・・・・・・・ 629＝43歳：_田村皇子を舒明天皇として即位させた。

百済王子人質 631＝45歳：

・・・・・・・ 636＝50歳：_大派王から官人朝参の怠慢を責められたが従わず，

高向ら帰国・・・ 640＝54歳：

皇極天皇即位 642＝56歳：_皇極天皇即位に際し大臣となり，子の入鹿とともに権勢を振う。百済大使翅岐を畝傍の家に招いて対話し，大早のためみずからも香炉をとって祈雨した。同年，祖廟を葛城高宮に建てて八倫の舞をなし，人民を使役して双墓を今来に造り，蝦夷の墓を大陵，入鹿の墓を小陵といい，上宮乳部の民をことごとく集めて造墓に使役したので，上宮大娘姫王は激怒した。

蘇我入鹿の乱 643＝57歳：_巫蜺が蝦夷の橋を渡る時をうかがって神語をのべ，病のため朝参せず私的に入鹿に紫冠を授けて大臣の位にあるかのようにさせ，入鹿の弟を呼んで物部大臣といったが，その理由は蝦夷の祖母が物部守屋の妹で，母の財により世に勢力を振ったためであるという。入鹿が甥にあたる山背大兄王を斑鳩に襲撃した事件を聞き，子の愚行と暴挙を怒りののしった。

・・・・・・・ 644＝58歳：剣池の蓮に1茎2萼のものがあり，蘇我氏繁栄の祥瑞として金泥で描き法興寺丈六仏に献じた。大臣が橋を渡る時多くの巫蜺は神語をのべ，甘樫岡に建てた家を上の宮門といい，武力でこれを守った。

乙巳の変・・・ 645＝59歳：_入鹿が板蓋宮大極殿で誅せられ，屍を蝦夷に賜わった。漢直らは一族を集めて蝦夷を助けて陣を張ったが，巨勢臣徳陀(徳太)の説得で退散した。誅せられるに際し「天皇記」「国記」や珍宝を焼いて邸で自尽した。